

筑後市社会福祉協議会 / 広報

人として

筑後市社会福祉協議会

(〒833-0032 筑後市野町680-1)

TEL 52-3969

FAX 53-6677

Mail info@chikugo-shakyo.or.jp

URL http://www.chikugo-shakyo.or.jp

私たちの手で 私たちのまちを 福祉のまちに…それが社会福祉協議会の目標です。

災害に備え、県と4市町の社協が協定 災害ボランティアセンター設置運営訓練



3月3日(日)、災害ボランティアセンター設置運営訓練を開催しました。講師に、NPO法人にいがた災害ボランティアネットワーク理事長の李仁鉄さんをお迎えし、令和6年能登半島地震における活動報告、被災者に寄り添った災害ボランティアセンターの運営などについてお話しいただきました。

災害ボランティアセンターから被災者支援センターへ

能登半島地震では、被災者のニーズに対して、ボランティア活動があまり行われていないとの声があります。しかし、ボランティアがケガした場合には、治療が行えるほど医療に余裕がないことや、被災者が避難しており自宅の立ち合いが出来ないなどさまざまな状況があります。災害ボランティアセンターは、ボランティア活動が必要かの確認やボ

ランティアの受付だけでなく、被災者の体調や、避難所での生活の様子、困りごとなどを整理し、被災者に寄り添い相談対応を行う「被災者支援センター」としての役割を担います。行政窓口、社協、民生委員、地域の方：被災者によって相談しやすい人は違います。どこに、誰に相談しても支援に繋がり(IIワンストップ)、受け止めるネットワークの構築が重要です。

普段から、地域の方々や地元ボランティア団体、NPO団体、各専門職の方などと繋がりをつくり、非常に時に、協働できる関係づくりが大切になります。

県社協 大川市 大木町 広川町・筑後市社協 協力協定

開催に合わせ、福岡県社協、大川市、大木町、広川町、筑後市の各社協で災害時相互支援協定を締結しました。いつ起こるか分からない災害に対し、迅速に対応できるよう、運営支援、資機材の貸与など連携・協働していきます。

ひとり親のためのくらし応援講座
理想のわが子は妄想!?

大切なのは子どもとの良い関係性



3月10日(日)、筑後市母子寡婦福祉会と社会福祉協議会が共催で「ひとり親のためのくらし応援講座」を開催しました。

公認心理師の高澤信也さんをむかえ、「子育てがもっとラクになるこころの法則」をテーマにお話していただきました。

理想 I 現実 II 悩み

ありのままを受け入れる

悩みとは理想と現実のギャップで

す。例えば「お腹が出ている」という現実があっても、気にならない人であれば悩みになりませんが、細身が理想である人には悩みになります。解決しないのは、変えられないものが理想に設定されているからかもしれません。

他者や過去は変えられません。変えられるのは自分の考え方や行動です。自分子どもだからと変えられそうな気がしますが、子どもにも要求があります。

ありのままの子どもを受け入れ、自分の考え方や行動を少しずつ変えていくことが大切です。

今あるものに目を向けて

できていることを伝える

子どものできないことばかりが気になっていませんか?人は本能的にできないことに目がいくものです。

だからこそ、意識してできていることに目を向けてみましょう。それ

『食料品の無料配布』で ひとり親家庭を応援!

お米、インスタント食品等を配布します。必要な方は、お気軽にお申し込みください。数に限りがあります。

★事前申し込みが必要です!

4月9日(火)12時

～4月12日(金)17時に

QRコードを読み取ってお申し込みください。

(数量限定。期間内でも、定数に達し次第受付終了します)

対象：平成14年4月2日以降生まれの子がいるひとり親家庭

配布日：4月16日(火)・17日(水)16時～18時

配布場所：筑後市総合福祉センター

問合せ：筑後市社会福祉協議会 TEL 52-3969

Mail: info@chikugo-shakyo.or.jp

★グリーンフードパントリー
(野菜の無料配布)も実施中!

※詳細は、公式LINEにて⇒⇒



ひとり親家庭のための 学習支援教室

新年度 児童・生徒大募集!!

毎週10名以上のお子さんが、ボランティアの先生とほぼマンツーマンで学習中。

母子会の役員・教員OB・大学生などのボランティアの皆さんのご協力無料で実施しています!

ぜひ一度見学へお越しください♪

(事前に見学希望日をご連絡ください)

対象 筑後市内の小・中学生
(ひとり親家庭の子)
日時 毎週火曜日 19:00～21:00
4月⇒2日,9日,16日,23日,30日
場所 筑後市総合福祉センター
利用料 無料
持ち物 筆記用具、宿題、ドリルなど

問合せ

筑後市母子寡婦福祉会

事務局：社会福祉協議会

TEL：52-3969 FAX：53-6677

Mail：minnno_chikugo_bosi@yahoo.co.jp



を伝えてあげると、さらに子どもは伸びていきます。

**どんな感情をもつてもOK！
行動には注意を**

いたずらなどをしたときに、「いけないことばかりする悪い子ね」という言葉をかけると、子ども自体を否定することになります。「それはいけないことなんだよ」と行動に対して注意をしましょう。

怒りは普通の感情ですが、物を投げたり、手を出したり、悪口を言うのはいけません。どんな感情を持つてもいいですが、行動は切り分けることも伝えましょう。

子どもの関心に

関心を寄せてみる

「みてみて!」「聞いて聞いて!」と同じ話を何度もすることがあります。話をしっかり聴いて、その時、どんな気持ちになったのかにも、注目してみてください。

ゲームやアニメなど子どもが好きなものにも関心を寄せてみてください。親が同じようにはまる必要はありませんが、

りませんが、「どういうところが楽しい?」と聞いて共通の話題を見つけてみましょう。

親は完璧ではないことを伝える

親は完璧ではありません。間違えるし、できないことがあることを見せることも必要です。

また、「こんなことで悩んでるけど、どうしたらいいと思う?」と意見を聞いてみると考えを伝えてくれることもあります。

理想に子どもを近づけるよりも、色んな会話をしながら、子どもと良い関係を築いていくことが大切です。

くろーばーサロン

(子育て中のひとり親家庭のグループ)

いちご狩り

とき
ところ

4月14日(日)
プーさんのいちご園
(八女市馬場600-3)

参加費

10時に現地集合
大人2,000円
子ども1,500円

申込み

※当日母子会入会で参加可能
4月4日(木) 締切
筑後市社協 (52-3969)

**地域で見守り、気づき、支え合う
福祉員制度を知っていますか?**



写真は、令和5年度福祉員新任者研修の様子

**福祉員 福祉相談員・
福祉連絡員とは?**

市社協では、各行政区に福祉員・福祉相談員・福祉連絡員を設置していただいています。身近に困っている人がいないか、いち早く気づき、解決に向けて住民同士でできる支え合いを進める活動です。

福祉員とは、行政区内の福祉の担当・窓口として民生委員と連携して活動する人をいいます。市内には約100名の福祉員がいます。福祉問題を行政区内に反映させたり、「福祉のまちづくり」を提案し、活動を進めていく中心を担います。
福祉相談員とは、日常的な福祉相談窓口として民生委員と連携して、困っている人の課題を解決できるよう、個別に支援(見守り、訪問など)をする人です。
福祉連絡員(各隣組長が兼務)とは、隣組単位で福祉の連絡役として隣組内で福祉問題が発生した場合に早期に福祉相談員に連絡する役割を担います。
地域には、こうした皆さんによって見守り活動や地域デイサービスなどの取り組みが行われています。
お互い繋がりが合い、支え合いながら地域で誰もが安心して過ごせることのできる仕組みの一つです。

社会福祉事業資金寄付

★ 香典返し寄付の部 ★

小川 富喜子様(故 福美様) 船小屋
 楠田 美佐子様(故 梅野 敬子様) 上町
 末永 廣志様 (故 カヲル様) 久富
 城戸 木八様 (故 交司枝様) 二本松
 酒井 和幸様 (故 鈴子様) 山ノ井東
 富久 泰徳様 (故 サツキ様) 津島西
 平井 徳男様 (故 一三夫様) 藤島
 水町 ともえ様(故 悦久様) 桑鶴
 小川 智光様 (故 山下 侖子様) 中牟田

★ 一般寄付の部 ★

○匿名様から現金の寄付がありました。
 た。

★ 計 二八四、八二四円

善意奉仕銀行寄付

● 預託の部 (物品口座)

○匿名様からお米の寄付がありました。
 ○野田製菓様(八女市)から黒棒の寄付がありました。
 ○匿名様(高江)、小川智光様(中牟田)から紙オムツの寄付がありました。
 ○匿名様から食品の寄付がありました。
 ○川上亜紀様(野町)から子ども服の寄付がありました。

○匿名様からトイレトペーパーの寄付がありました。

【いずれも2月1日〜2月29日まで】

精神障害の本人と家族の会 ひまわりのつどい 心と体のリフレッシュ

とき

4月20日(土)
10:00-12:00

ところ

筑後市総合福祉センター

内容

リフレッシュヨガと
意見交換

持ち物

飲み物・バスタオル
フェイスタオル



精神障害のある人のための
居場所・交流スペース

かたる〜む

★4月の開設日のお知らせ★

とき 4月12日・26日(金)
13:30~15:00

★予約不要・時間内出入り自由

ところ 筑後市総合福祉センター(野町680-1)

ひきこもり家族相談会

とき 4月18日(木) 13:00~16:00

★4月11日(木) 17時までに要予約

(1日限定3名・匿名可)★原則来所での相談

ところ 筑後市総合福祉センター(野町680-1)

申込み
問合せ

筑後市社会福祉協議会

TEL 52-3969 FAX 53-6677

Mail info@chikugo-shakyo.or.jp

不登校・ひきこもりの方の家族会

サルビアの会に来てみませんか?

同じ立場なら話せる! 分かり合える!

とき 4月6日(土) 14:00~15:30

ところ 筑後市総合福祉センター(野町680-1)

内容 学習会・交流会

対象者 不登校やひきこもりの方の家族

事務局通信

記事にもあるひとり親のためのくらし応援講座では、心の動揺を減らすために「協働調整」の大切さも話されました。「協働調整」とは、同じことで悩むグループなど、安心する人との関わりの中で心が安定するというものです。

筑後市母子寡婦福祉会(以下、母子会)では、ひとり親の皆さんと、かつてひとり親だった寡婦の皆さんでイベントや講座を通して交流し、悩みを共有したりしています。

会員の方からは、「話してみても自分だけじゃないと知って楽になった」「寡婦の皆さんが悩みを乗り越え、明るく過ごしているのを見て前向きになった」といった声を聞きます。

母子会の皆さんだけでなく、生きていく中で落ち込んだり、悩むことがあります。「協働調整」によって、気持ちラクになったり、元気をもらったりします。自分だけで、どうかしようと考えるのではなく、安心できる居場所で、誰もがいつでも助け、支え合える関係をつくられたらいいなと改めて思いました。(実)